

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

平成31年4月19日

三田市議会議長 厚地 弘行 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	新政みらい	代表者	
		議員名	田中 一良
派遣者氏名	厚地弘行 田中一良 北本節代 佐貫尚子 中田 哲		
視 察 先	篠山市		
調査事項 (調査目的)	篠山市 学校再編について		
日 時	平成31年4月16日(火)～ 年 月 日()		
視察先対応者	・森本富夫 議長 ・稲山 悟 教育委員会教育部長・小林康弘 教育総務課長 ・樋口寿広 議会事務局課長		
添付資料	厚地議員、代表で資料収録		

調査日時	平成31年4月16日(水) 13時30分～15時00分
視察先	篠山市
調査事項	篠山市の学校再編について
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>★篠山市・・・篠山市は、現在小学校14校、中学校5校、特別支援学校1校、幼稚園12園、保育園4園、こども園2園を管理運営しています。</p> <p>中学校2校で全学年が単学級となっています。</p> <p>平成11年の篠山市発足後、学校の適正規模・適正配置ということが、重要な教育課題として議論され、平成14年3月には、「篠山市教育基本構想」が作成され、今日の少子化、学校の小規模化への対応や新しい時代にふさわしい学校づくりの構想が示された。</p> <p>★学校の再編の経過</p> <p>当局作成の再編案は、市民の反対により後退。 結論を急がず、じっくりと各委員会で協議いただき結論を託した。 結果、「統合を否とする」結論が出てもやむを得ない、とした。</p> <p>地域・住民等の意見の合意を尊重する方法で行われました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学手段の確保・・・スクールバス ・教師の配置人数の変更・・・いきなりではなく徐々に削減 ・施設の整備・・・既存施設の最低限の更新により対応 ・跡地活用について・・・各閉校施設は民間が活用するなどされている ・定住促進重点地区として・・・いろいろな支援をしている若者、子育て世帯を応援する取組 <p>など行い再編を進めている。</p> <p>★三田市も結論を急がず、じっくりと地域・住民・PTA・子どもたちなどの意見をきめ細かに地域に赴き、じっくりと話し合いを重ね合意を得なければならぬとつくづく感じました。 有意義な視察でありました。</p>	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

兵庫県三田市議会視察研修次第

と き 平成31年4月16日(火)

13:30~

ところ 篠山市役所4F 議員協議会室

1. 開会

2. あいさつ

3. 出席者の紹介

4. 研修内容

学校再編について

5. 質疑応答

6. 閉会

(篠山市出席者)

・教育委員会事務局

・ "

・

教育総務課

"

部長 稲山 悟

課長 小林 康弘

係長 田中 真紀子